

## ロボット導入を予定した高度自動化物流センター 「ASKUL Logi PARK 横浜」が5月に稼働開始、首都圏の物流能力増強 ～労働環境の改善にも取り組み、スタッフが「長く、気持ちよく働ける」職場作りを目指す～

アスクル株式会社(本社:東京都江東区、社長:岩田彰一郎、<http://www.askul.co.jp/>、以下アスクル)は、業容の拡大に伴い増え続ける出荷量に対応するため、現在稼働中の「横浜センター」(所在地:神奈川県川崎市、以下「現稼働センター」)を移転拡充し、2016年5月に「ASKUL Logi PARK 横浜」(所在地:神奈川県横浜市、以下「ALP 横浜」)を稼働します。

ALP 横浜は、現稼働センターに比べ延べ床面積で約2倍、出荷能力も約2倍に増強されます。アスクルの既存7物流センターで培った設計・運営ノウハウを活かしつつ最先端のマテハン設備を導入し生産性を向上させます。さらに1年以内を目処にピッキングロボットの導入を予定しており、自動化・省人化の点で最先端の物流センターとなります。

ALP 横浜は、アスクルの法人向けサービス「ASKUL(アスクル)」と、一般消費者向けインターネット通販サービスの「LOHACO(ロハコ)」双方の物流を担います。



「ASKUL Logi PARK 横浜」の全景

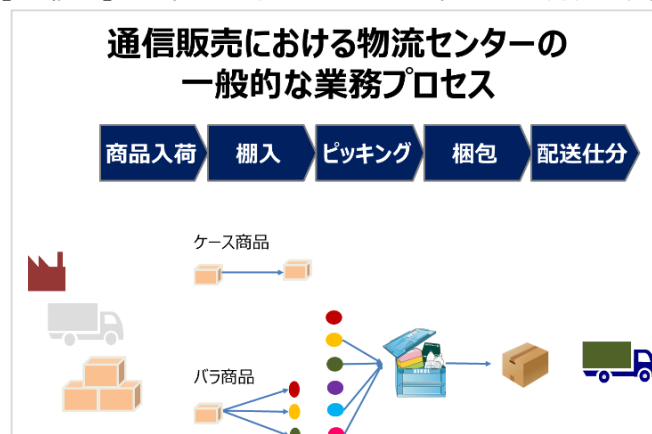
### ALP 横浜のコンセプト

eコマース市場は飛躍的に成長する一方、生産年齢人口※は減少しており、eコマースの物流を支える「生産性の向上」と「働き手の確保」はますます重要となっていること、さらに物流センターで働くスタッフの定着率の向上が重要な課題となっております。そこでALP 横浜では、設備・システムを高度自動化させることで省人化、省力化を実現し、少ない人員でも24時間稼働できる物流センターを目指しております。スタッフに「長く、気持ちよく働いてほしい」という想いを職場作りの基本方針とし、空調の整備や食堂の設置など労働環境の改善を進めています。

※生産年齢人口は15歳以上65歳未満の年齢に該当する人口を指します

### 1. 高度自動化による省人化の推進と生産性向上

一般的な通信販売における物流センター業務は、概ね【商品入荷】→【棚入】→【ピッキング】→【梱包】→【配送仕分】の工程に分かれます。アスクルでは、物流センターの生産性を向上させるために各業務の自動化を推し進めてきましたが、「ピッキング」と「梱包」の工程は人手によるところが多いのが現状です。



ALP 横浜では、ピッキング工程に焦点を当て、商品が自動的にスタッフの手元流れてくる「取りに行かない」「歩行ゼロ」のピッキングを実現しました。これにより、あらかじめ定められた位置でのピッキング業務が可能となり、当該工程における出荷能力が最大 5 倍程度に増強、より少ないスタッフでのピッキングが可能となっております。現在、ASKUL Logi PARK 首都圏(以下、「ALP 首都圏」)のピッキング工程へ小規模にロボットを導入しておりますが、1 年以内を目処に ALP 横浜の広範囲なピッキング工程にロボット導入を進め、更なる省人化を推進する計画です。

梱包工程では、大きいサイズの段ボール箱に対応した自動梱包機を ALP 首都圏および大阪 DMC へ導入し梱包工程における自動化を進めてきましたが、ALP 横浜では、中・小サイズの段ボール箱に対応できる自動製封函機を導入する等、梱包業務の自動化を更に推進します。これにより、商品と段ボール箱のミスマッチによる商品破損や過剰緩衝など梱包品質面での改善が期待できます。

## 2. 労働環境の改善と働きやすい職場作り

アスクルの物流センターでは、労働環境の改善や働きやすい職場作りを進めています。ALP 横浜では、物流センターで働くスタッフに「長く、気持ちよく働いてほしい」という想いを職場作りの基本方針とし、暑さ・寒さ対策としてスタッフへ空調を集中させるスポットエアコンを多数導入するなど、労働環境の改善を進めます。

また、「ひとりの時間をゆっくり過ごしたい」、「仲間とワイワイ話しながら休憩したい」など多様なニーズに対応する休憩スペースをセンター内に設置し、スタッフが充実した休憩時間を過ごせる環境を作ります。

さらに、働きやすい職場づくりの一環として 2016 年 7 月末までに ALP 横浜内に厨房設備と食堂を設置します。横浜市内で食堂運営の実績をもつ株式会社誠(神奈川県横浜市)に食堂運営を業務委託し、栄養価やカロリーに配慮した暖かい昼食メニューを毎日複数・日替わりで用意します。また、スタッフと一緒に働きやすい職場作りを進める事を目的に、1 年間の昼食無償提供を試行します。スタッフの定着率、付随する生産性などの効果を確認しながら、昼食無償提供の延長を検討していきます。

アスクルは、物流センターにおける労働環境の改善・向上に取り組みつつ、今後も物流センターのさらなる自動化・省人化を進め、より競争力のある物流・配送力を実現していきます。

### <施設の概要>

|       |                            |          |                             |
|-------|----------------------------|----------|-----------------------------|
| 名称:   | ASKUL Logi PARK 横浜         |          |                             |
| 所在地:  | 神奈川県横浜市鶴見区生麦 2-4-6         |          |                             |
| 稼動開始: | 2016 年 5 月                 |          |                             |
| 敷地面積: | 約 25,500 平方メートル(約 7,700 坪) | 延床面積:    | 約 50,000 平方メートル(約 15,100 坪) |
| 建物階数: | 地上 5 階建(全棟賃借)              | トラックバース: | 88 バース(各階計)                 |
| 投資額:  | 約 40 億円                    |          |                             |

※本リリースに掲載の情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。